

# 精神看護学概論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・岡田実

科目担当者（職位・氏名）：

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：78

## ■ 授業概要

精神看護の考え方、信頼関係等の精神看護の基盤および精神看護に必要とされる精神保健福祉法上の諸原則を教授する。また、精神状態と身体状態や日常生活との関連、精神科疾患をとりまく倫理的な課題、精神保健福祉について理解を促す。

## ■ 到達目標

1. 歴史的変遷を経て精神障害者や精神疾患がどのような理解されてきたかを知る。
2. 精神保健福祉法によって精神医療が人間の尊厳と人権の尊重をどのように実現しようとしているか理解することができる。
3. 複雑化する現代社会およびそれらに専門的に向き合う精神科看護師への期待とその活動の実際を理解できる。

## ■ 教育内容

精神看護学

## ■ キーワード

精神医療の歴史、精神保健福祉法、人権の尊重、治療環境、家族間調整

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	世界の精神医療の歴史	ヨーロッパやアメリカの精神医療史・講義	岡田
2	日本の精神医療の歴史	日本の精神保健福祉法までの歴史の変遷・講義	岡田
3	精神保健福祉法下の精神医療	精神保健福祉法に基づく入院治療の諸原則・講義	岡田
4	現代の精神医療における人権擁護①	精神科看護師に求められる倫理と地域移行に向けた支援活動・講義	岡田
5	現代の精神医療における人権擁護②	精神科看護師に求められる倫理と地域移行に向けた支援活動・講義	岡田
6	現代の変容する家族像と精神障害者を抱える家族の問題と支援	家族の捉え方、家族が抱える現代的問題、精神障害者を抱える家族の課題・講義	岡田
7	変容する現代社会が抱える諸問題	現代社会におけるメンタルヘルスの課題・演習と講義	岡田
8	精神科臨床における高度看護実践家	精神看護専門看護師の活躍・講義	岡田

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

授業中のプレゼン 10%、定期テスト 90%

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・課題レポートの評点は Google Classroom からフィードバックする。
- ・テスト及び課題レポートの評価点は、希望者に対して研究室内でフィードバックする。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版  
精神看護学 ① 情緒発達と精神看護の基本  
精神看護学 ② 精神障害と看護の実践

## ■ 参考書・参考資料等

- ・武井麻子著（2021）『系統看護学講—専門分野 精神看護の基礎 第6版』医学書院
- ・武井麻子著（2021）『系統看護学講座—専門分野 精神看護の展開 第6版』医学書院
- ・末安民生他著（2022）『系統看護学講座—別巻 精神保健福祉 第4版』医学書院
- ・阿保順子他著（2021）『統合失調症急性期看護学』すぴか書房
- ・呉秀三著（2015）『[現代語訳] わが国における精神病に関する最近の施設』青弓社
- ・厚生労働省などの公的機関が youtube 上で公表している各種の資料映像など。

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

Google Classroom から配信されたスライドなどの資料を読むこと。詳細は授業にて指示する。

## ■ 担当教員からのメッセージ

精神医療は罰則付きの精神保健福祉法に基づいて治療と看護が行われます。治療のために人権や行動を制限せざるを得ない場合は、法律に基づいた厳格な手続きを必要とするところが、一般科と違うところですか。どんなところに違いがあるのか、考えながら授業に参加してください。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 18、mokada★iwate-uhms.ac.jp、019-601-8571、オフィスアワーは特に定めませんが、事前にメールで日程調整のうえ研究室を訪問してください。

(※メールの際は★を@にしてください)

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の実務経験

看護師

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

## ■ 実務経験を活かした教育内容

医療機関での看護師業務の経験を活かし、精神看護学に関連する専門的で実践的な講義と演習を行います。